



近畿支部会報

2023年8月 支部長

毎日、暑い日が続いています。夏の花といえば、ひまわりではないでしょうか。ひまわりは名前の通り、日（太陽）を向いて回っていると思っていました。でも、NHK「らんまん」の主人公、牧野富太郎博士の本には次のように書かれています。



「一般に、ヒマワリの花が日に向こうで回（まわ）るということを信じているが、それはまったく誤りであった。先年私が初めてこれを看破（かんぱ）し、「日まわり日に回（まわ）らず」と題して当時の新聞や雑誌などに書いたことがあった。つまりヒマワリの花は側方に傾（かたむ）いて咲いてはいれど、日に向こうではいっこうに動かないことは、実地についてヒマワリの花を朝から夕まで見つめていれば、すぐにその真相がわかり、まったくくたびれもうけにおわるほかはない。このヒマワリの花が日光を追うて回るということは、もと中国の書物から来たものだ。」
これを読んで、思い込まずに丁寧に観察をしていくことが大事だと思いました。

ひまわりの原産地は北アメリカですが、ヒマワリは、なぜ sunflower（サンフラワー）と言うのかも調べてみました。ひまわりの花姿が太陽に似ているからという説だけでなく、「following the sun（太陽に従う）」から、「sun-follow」になり「sunflower」に変わっていったという説もあるそうです。

ひまわりを見るたび、映画「ひまわり」の場面を思い出し、撮影されたウクライナの平和を心から願わずにはられません。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. トラベラー受け入れ報告

まとめて報告・・・・・・・・・・・・・・・・久御山町 A.K
スペインの愉快的なトラベラー・・・・・・・・・・京都市 H.T

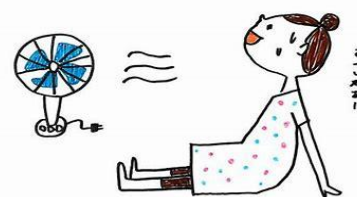
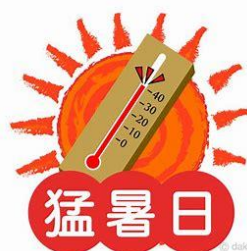
2. 新入会員の紹介

はじめまして・・・・・・・・・・・・・・・・高島市 A.A

3. トラベラーからの便り

ポーランド - 日本向け国紹介・・・・・・・・・・A.B-M

4. お知らせとお願い・・・・・・・・・・・・・・・・支部長



1. トラベラー受け入れ報告

まとめて報告

久御山町 A.K

Pe Bl(m) & Pa An(f) USA 5/15-18

東京のオープンスクールでカントリーミュージックのコンサートを済ませて、5/15 箱根から京都市内を経由して我が家に。Peさんは、玄関から入るときに靴のまま入ろうとしていました。今時、そんな人がいるのでびっくりしました。小さいときに日本に住んでいて久しぶりだと懐かしそうに話してくれました。とても陽気にぎやかな二人でした。16日は、葵祭を見たのち、予約してあった桂離宮を訪れていました。写真を見ながら、葵祭と桂離宮の説明してくれました。17日は、奈良公園に散策に行きました。ミュージシャンだとメールに書いてありましたが、楽器も持っていなかったの、本当かな？と、思いました。楽器は東京に置いてきたと言っていました。二人が歌っているYouTubeを見せてくれて納得しました。カントリーミュージック限定で作成した歌詞本を「せっかくなので」と言って、プレゼントしてくれました。18日駅まで送って行きました。



Ar An(f) & Jo Ma (m) Spain 6/26-30

5/26Hさん宅から宇治市を経由して我が家へ来られました。27日、「地域を歩きたいからルート教えてくれないか」と言われました。二人で、流れ橋、四季彩館、お茶畑、イオンモールと歩き、バスに乗って帰って来られました。28日は東海北陸支部例会参加しました。会員で民泊伊藤（伊勢市宮町）とせせらぎ荘（伊勢市矢持町）を運営しているI.Mさんのお話を聞きました。O.MさんとAnさんとJoさんと一緒におく文でランチをいただきました。場所を蔵の町「河崎」のカフェに移動して、近くを散策しました。夕食をI.Mさんの家で伊勢市伝統料理、「てこね寿司」をごちそうになりました。近くのスーパーでビールとおつまみと朝食の食材を購入して別荘せせらぎ荘へ行きました。暗い夜道で伊勢なのに海を見ないでどンドン山奥に入っていました。ガードレールもなく不安に思いながら無事到着。交代でお風呂に入り、お布団を用意して宴会になりました。お天気良ければ蛍も見られるそうです。庭のベリーを摘み、美味しくいただきました。



29日、朝10時にI.Mさんの家に行きました。伊勢市山田に一軒残っている御師（おんし）丸岡宗大夫邸（まるおかそうだゆうてい）で説明を聞きました。全国各地から伊勢を目指す人々をしっかりと支えたのが御師と呼ばれる人たちでした。当主のM.Mさんから御師が参拝

のすべてを仕切るシステムは、「今風でいえば、まさにパッケージ旅行です。伊勢にまったく土地勘のない全国から多くの人が伊勢を目指したので、宮川のともと中川原まで看板を持って出迎えた」そうです。明治になるまで、続いていた木札などの貴重な物を見せていただきました。NHK「ブラタモリ」に出演された時のお話も聞きました。和紙工房を見学して、600年続く伊勢の伝承薬『萬金丹』6種類の和漢生薬で安心して使える万能薬を買いました。夫は子供のころ「鼻くそ丸めて萬金丹」と遊んでいたそうです。ランチは伊勢うどん。外宮を散策して、近くの赤福で「赤福氷」をいただきました。帰りは、雨の高速道路でしたが、渋滞することなく無事に家に着きました。夜は、楽しい会話をしながら宴会の続きをしました。

30日朝、駅に送って行きました。

El Sa (f) USA

5年前に我が家に来てくれました。6/9 会員ではなくなったものの「夫と従妹と三人で京都に泊まっているので、久しぶりに会いませんか？」とメールをくれました。私たちも会いたかったので、JR 宇治駅で待ち合わせをしました。とても元気そうで、無事に獣医になれた仕事の様子を聞きました。平等院参拝後、商店街では、茶だんご、ほうじ茶ソフト、お土産に葛餅を買われました。前日の雨の影響で宇治川公園中之島の橋が通行止めになっていたため、宇治橋を渡りました。ランチは回転寿司を一緒に食べました。アメリカでもよく食べるので大好きだそうです。宇治神社と宇治上神社を案内し、対鳳庵で抹茶をいただきました。彼らは京都市内にある猫カフェに行くと言うので午後2時過ぎに別れました。



Du Ek (m) & Di (f) Turkey 6/20-23



6/20 京都市内を散策して、夕食を済ませて我が家に来られました。

21日、京都市内の一日バス券を買って観光地を回っていました。

22日、ディナーはお好み焼きとたこ焼きパーティをしました。食材をスーパーに買いに行き、材料を用意してくれました。エプロンをして、器用に作業をしていました。広島から私の甥っ子一家が来て、一緒に楽しく過ごしました。そして広島からのお土産と情報もたくさんも

らって喜んでいました。

23日から広島・箱根・東京・成田経由で帰国されました。

Si Yo & Go Sa イスラエル 7/17~19

東京から「祇園祭を見たいので泊まれますか？」と、メールをもらいました。前日は、ホテルに泊まって宵山を楽しんで、次の日は、山鉦巡行を見て嵐山散策してきました。京都は暑くて疲れていたため、その日は少しかお話をしただけで早めに休んでもらいました。



18日は、宇治市に行きたいとの事で、バス停まで送って行きました。夜は、お友達と一緒に食事をする予定を伝えると、早めに帰って来てくれました。Yoさんは、黒田チカ（1884-1968）博士を研究するために日本にられました。ディナーの時に、英語と日本語で、研究の成果をパワーポイントにして説明してくれました。国際日本文化研究センター（日文研）は、1987年に設立されました。日本文化を国際的な視野で、学際的かつ総合的に研究していこうとする研究機関です。毎年、十数名の研究者を海外からまねいて、日文研のなかでもよおす共同研究でも、外国から参加する研究者の枠があるそうです。黒田チカ博士は佐賀藩で生まれ、女子にも教育が必要という父のもとで育てられて、東北帝大で初めて科学を学んだ女性です。その後はお茶の水女子大学で指導されていたそうです。Saさんからはキブツの生活について聞きました。平等と共同体の原則に基づく独自の社会的経済的枠組みであるキブツは、20世紀初頭のイスラエルの開拓社会の中で生まれ、恒久的な農村の生活様式へと発展しました。長年にわたって経済的繁栄をもたらしてきたキブツは、最初は主に農業を行っていましたが、後には工業やサービス業にも拡大され、イスラエル建国にも多大な貢献をしました。良い面とあまり良くない面があると話してくれました。

19日は、奈良公園に行くため駅まで送って行きました。

スペインの愉快的なトラベラー

京都市 H.T

スペインから Jo & An ご夫妻が5月24日～26日我が家に来られました。彼らはスペインの Pi さんという親交のある方の友達です。素敵な花を頂きました。

24日の夕食には大津の会員 S.S さんが来て下さり、夫と Jo さんはお酒や焼酎で、女3人はおしゃべりで盛り上がりました。夕食後にご夫婦に振り袖、羽織・袴を着せてあげました。袴のひもの処理がわからなかったので Net を見ると YouTube で出ていてすぐ理解できました。全く便利です。二人ともよくお似合いです。

25日は近くの東福寺と伏見稲荷神社を見た後、京都市内観光に行かれました。夕食にはサーバス会員、ウクライナの An さんと京都の W.H さんが来て下さり、又々楽しいおしゃべりでした。Jo さんは日本酒を買



ってきてくれました。夕食後は抹茶体験や、花札で坊主めくりをして日本文化を楽しんで頂きました。Anさんは坊主めくりが気に入って「孫のお土産にしたい。どこに売っているか」と早速買う算段です。

26日は An さんお勧めの宇治に行かれました。宇治は次のホスト A.K さん宅

に近いと Google で調べたり、ホストとも楽しく過ごされるし、スケジュール管理も上手で、サーバストラベラーにはうってつけの方でした。

2. 新入会員の紹介

はじめまして

高島市 A.A

5月28日東海北陸支部例会で、新入会員のあいさつと移籍のあいさつが一緒になってしまいました。入会当時は鈴鹿市在住でしたが、実家のある滋賀県高島市に転居のため、東海北陸支部から近畿支部に変わりました。高島市はメタセコイア並木で有名なスポットがあり自然豊かな場所です。



8/19には、殺処分ゼロをめざして！をスローガンに、名阪関ドライブインで、ミュージシャンによる、殺処分ゼロのムーブメントを起こそう！という、プロアマ関係なく手弁当で作りあげる動物愛護music fes「関の夏フェス」を企画しています。

動物好きな方、お力お貸しください♡

興味ありそうな方がいらしたら、その方にお伝えいただけると嬉しいです♡

3. ポーランドからの便り

An Bi-Mi さんご夫妻は、2022年11月2日～4日、我が家に滞在されました。300ページもあるポーランドの本を下さり、本の説明と歴史を詳しく話して下さいました。「近畿支部会報にポーランドと日本について書いていただけますか？」とお願いしたところ、快く引き受けて下さり、興味深い内容になっています。

A.K

ポーランド - 日本向け国紹介

An Bi-Mi

基本的な事実

ポーランドは、中央東ヨーロッパに位置する約4,000万人の住民を持つ中規模の国です。その書かれた歴史は、いくつかの西スラブ部族が1人の支配者の下で団結し、ローマカトリック教徒としてキリスト教化された後、1000年以上に及びます。統一された部族は最終的に合併し、1つの国を作りました。現在、ポーランドにはほぼ独占的にポーランド人が住んでおり、公用語と話し言葉はポーランド語です(ロシア語と密接に関連しています)。

ポーランドの地理は、北のバルト海と南の多数の山脈の2つの自然の国境だけによって区別されます。この事実は国の歴史に多大な影響を及ぼしました。東と西に自然の国境がないことは、国が混乱しているときに国が強いとき、または防衛的であるとき、これら2つの方向が常に戦争拡大主義者のリスクをもたらしていたことを意味していました。さらに、ポーランドの低地は、大陸の東西の間で大規模な軍隊の無制限の移動を可能にするヨーロッパで唯一の地域です。歴史を通して、数多くの軍隊がこの土地を西または東に行進しました(たとえば、ローマに侵入する野蛮な部族、スラブの部族、モンゴル、ロシアに侵入するナポレオン、ソ連を攻撃するヒトラー)。戦争はポーランド人にとって一般的なことでした。



国の西部、特に東部の国境は、時には巨大な範囲ですぐに絶えず変化していました。その結果、国は非常に軍国主義的な文化を発展させました。

ポーランド人は、最も西の大スラブ国家であると同時に、最も東のローマカトリックキリスト教徒です(東方正教が支配的です)。「国境にいる」ことと「岐路に立つこと」は、ポーランドの歴史とアイデンティティに共通のテーマです。

黄金時代

数百年前、ポーランドは世界で最も裕福で最も強力な国の1つでした。国はポーランドとリトアニアの連邦よりも名付けられました。その黄金時代は、西暦1500年頃から西暦1700年まで約200年間続きました。領土拡大の最盛期には、国の国境は現代のポーランド、ウクライナ、ベラルーシ、バルト三国、ロシア西部の一部のほとんどを網羅していました。しかし、国は東に「シフト」し、現代の西部のほとんどはドイツ語圏の州に属していました。

後の力の基礎は、ポーランドの貴族が異教のリトアニア大公国よりも強力な共同敵であるドイツ騎士団のドイツ語を話すキリスト教の戦士僧侶国家と同盟を結んだXIV-世紀に置かれました。取引の一環として、リトアニアは人口の少ない広大な領土を提供し、連邦の王であり、キリスト教化されました。国の



首都はクラクフにあり、後にワルシャワに移りました。共同の敵は敗北し、帝国が出現しました。国は非常に多様で分散化されていました。当時、ヨーロッパで最も民主的でリベラルな国の1つでした。国王は選挙で選ばれ、法律は人口の約 15%(現代の基準では上位中産階級)を構成する高貴な選出された代表者によって承認されました。西ヨーロッパが宗教戦争を繰り広げ、異端者を火刑に処し、民族浄化を行っていた当時、ポーランドでは宗教的および民族的自由が大切にされていました。貴族のほとんどはポーランド語を話すカトリック教徒でした(彼らの多くはポーランド化され改宗しましたが)、一般的に無数の言語、民族、宗教の人々が平和に一緒に暮らしていました。特に他の国で起訴されたユダヤ人は、国王の権威によって法的に保護され、国に群がりました。

世界科学へのポーランドの最大の貢献は、まさにその時期に、地動説の世界観に反論するための基礎を築いたミコワイ・コペルニク(ニコラウス・コペルニクス)の作品によって行われました。

富の主な源は農業でした。例えば、現代のウクライナのいわゆる黒い土は、地球上で最も肥沃な土地の1つです。国内で生産された穀物は、主に港湾都市を通じて西ヨーロッパに販売されました。

しかし、富は近隣諸国の望まない注目を集めていました。国境地域は事実上絶え間ない戦争。その結果、ポーランド人は熟練した戦闘機になりました。人口の少ない土地の広い地域を守る必要があるため、騎兵隊が支配的な軍隊として浮上しました。特に有名なのは、「翼のある騎兵」として知られる重衝撃騎兵ユニットでした。翼のあるハッサーは、近世の最も効率的な軍事ユニットでした。例えば、キルホルムの戦いでは、3,000 人以下の軍隊が 12,000 人のスウェーデン軍を打ち負かし、9,000 人未満の損失で 100 人以上の死傷者を出しました。軍事史へのもう一つのユニークなポーランドの貢献は、サーベルとサーベルの戦闘スキルの開発です¹。

絶え間ない戦争は最終的に国家を疲弊させ、XVIII 世紀後半に周囲の 3 つの近隣諸国に直面し、同盟したとき、ポーランドは独立を失い、ヨーロッパの地図から完全に姿を消しました。



ポーランドとウクライナ

独立した国としてのウクライナのアイデンティティは、ポーランドの貴族に対する反乱の火の中で生まれました。XVII 世紀には、ウクライナの貴族であるコサックは、ポーランドやリトアニアの貴族と同じ特権を望んでいました。彼らの指導者であるボフダン・フミエルニッキは、国を三国共同体(ポーランド、リトアニア、ウクライナ)に改革したいと考えていました。要求が拒否された後、長く血なまぐさい内戦が勃発しました。最終的にポーランドの貴族はコサックと権力と特権を共有することに同意しましたが手遅れでした。苦くて魅了された彼らはロシア皇帝の保護を選びました。特に、2014 年にウクライナがロシアではなく西側との統合を決定したとき、アルセニジ・ヤセニク(首相よりも)は「先祖の過ちを正している」と述べました。

死と再生

ポーランドは 1795 年に独立を失い、123 年後の 1918 年に独立を取り戻しました。わずか 20 年後、国は再びナチスドイツに独立を失いました。ドイツのナチスが彼らの最も恐ろしい犯罪、つまりユダヤ人のホロコーストを犯したのはポーランドの土壌でした。第二次世界大戦は国を完全に破壊しました。世界

で最も一人当たりの死傷者を出し、首都は地面に破壊されました。

戦争の終結は平和をもたらしましたが、自由はもたらしませんでした。冷戦中、ポーランドはソビエトロシアと強制的に同盟を結んだ従属共産主義国でした。共産主義政権は人気がなく、1989年にレフ・ヴァウエンサが率い、教皇ヨハネ・パウロ2世に道徳的に触発された「連帯」運動によって最終的に平和的に証言録取されました。特に、「連帯」は、政治的目標を達成する手段として戦略的非暴力を使用するという点で、マハトマ・ガンディ、ネルソン・マンデラなどの運動と一致しました。

1989年以來、ポーランドは他の西側諸国と軍事的(NATO)および経済的に緊密に同盟している完全に独立した国家です。実際、過去30年間は、過去数世紀で途切れることのない繁栄の最も長い期間をマークしました。

日本とポーランド



日本はポーランドで非常に高く評価されています。特に、レフ・ヴァウエンサが大統領に立候補したとき、彼は国を「第二の日本」に変えると有名に約束しました。具体的には、ポーランド人が日本を尊敬する地域がいくつかあります。一つは、日本企業がポーランドの製造業に積極的に投資しているビジネスです。一般の人々は日本の技術(特に車、オートバイ、音楽機器、カメラなど)を高く評価しています。さらに、日本文化の2つの側面は、ニッチな人口で非常に高い支持を得ています。1つはマンガとアニメです(ファン専用の雑誌もあります-カワイイ)。もう一つは武道(特に柔道、空手、合気道)です。この魅力の頂点は、ポーランド中部の田園地帯に、伝統的な日本の村に倣ったリトリートセンターが作られ、さまざまな武道の会議やセミナーが行われることです²。

多くの同様の経験(伝統への高い敬意、過去の非常に軍国主義的な文化、第二次世界大戦中の大破壊とその後の再建努力)を考えると、ポーランド人と日本人がお互いをよりよく知るための大きな未開発の可能性があるとされます。



英語でのポーランド 日本向け国紹介は下記です。

<https://docs.google.com/document/d/lozCjs5->

[3ETsg1hGzePKLrNXcymeB1A7Y/edit?usp=sharing&ouid=112702662053176398864&rtpof=true&sd=true](https://docs.google.com/document/d/lozCjs5-3ETsg1hGzePKLrNXcymeB1A7Y/edit?usp=sharing&ouid=112702662053176398864&rtpof=true&sd=true)



5.お知らせとお願い

支部長

*サーバス近畿支部と沖縄の Zoom オンライン例会を9月9日（土）午前10時より予定しています。沖縄からは、会員の娘さんとその友達のお二人が参加して下さいます。お二人は音楽を通じて沖縄在住の外国の人たちと交流を深めていられます。又、7月には改正「反スパイ法」が施行され、ビザの発給や現地での取り締まりの厳しい中、音楽を通じて交流を深めるため、非常な苦勞をして中国へ行ってこられました。このような体験をされている方と出会える機会はめったにありません。どうぞ皆さんもふるってご参加くださいますようお願いいたします。

*住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長朝倉清美までお知らせください。

・・・